

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI



2020

7

No. 772



暑さに負けず大熱戦
良城クラブ親睦交流ベタンク大会



泥の感触が気持ちいい！
おおとり保育園田植え体験



見て見ていっぱいどれたよ～
吉敷幼稚園ぞら豆収穫

CONTENTS

インフォメーション..... 2

【トピックス◎】
文化による地域づくりに
幅広く取り組んでいます..... 3

【トピックス◎】
熱中症に気を付けましょう..... 4

【シリーズ歴史◎】
吉敷川に架かる橋[前編]..... 5

【トピックス◎】
地域の川を守りつなぐために
環境調査を始めました..... 6

【地域のチカラ】
「やまぐち路傍塾」..... 6

レポート..... 7

リレーエッセイ..... 7

イベントカレンダー..... 8

かけはし..... 8 よしき人

YOSHIKI
DATA

【人口】14,642(前月比 -22) 【世帯数】6,313(前月比 -2)

令和2年6月1日現在



インフォメーション

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

行事等中止・延期のお知らせ

■吉敷地区親睦ソフトボール大会
(9月以降に延期)

■早朝河川一斉清掃(延期)

■当初予定 7月19日(日)

■よしき夏まつり(中止)

■当初予定 8月13日(木)

■えがお食堂(9月まで中止)

■ふれあい給食(8月まで中止)

実施・再開にあたっては、広報誌や回覧などによりお知らせします。

地域交流センター新刊図書案内

・岸辺のヤード

(梨木 香穂)

・クスノキの番人

(東野 圭吾)

・おしりたんてい かいとうVSたんてい

(トロール)

・おしりたんてい プブック

きえたおべんとうのなぞ!

(トロール)

夏休み講座

次の①から③までの夏休み講座を開催しますので、ふるってご参加ください!

■申込期間 7月6日(月)～

※受付時間 8時30分から17時15分

■申込方法 地域交流センターまで電話

でお申し込みください。申し込みは先

着順となります。

■申込・問い合わせ 地域交流センター

☎083-922-13915

①子ども絵画教室

夏休みの宿題の絵をみんなでワイワイ

楽しみながら描きましょう!

■とき 8月4日(火)・6日(木) 9時～

12時※できた人から解散

■場所 地域交流センター 講座室

■講師 佐々木範子氏(佐畑)

■対象 小学生20名(各回)

■準備 筆記用具、クレヨン、色鉛筆、

水彩絵具セット、雑巾、絵画の参考に

する資料等



昨年の様子

②子ども陶芸教室

毎年恒例の陶芸教室を今年も開催します。陶芸家の講師が優しく教えます。

■とき 8月13日(木)

■場所 地域交流センター 講座室

■講師 田口潤氏(中尾西)

■対象 小学生15名

■参加費 500円

■準備 汚れてもよい服装



田口 潤氏

③ロボットプログラミングde YV

今話題のプログラミングが講座になりました。簡単なプログラミングを行い、実際にロボットを動かしてみま

しょう。

■とき 8月5日(水) 10時～11時30分

■場所 地域交流センター 講座室

■講師 豊野晃大氏

■対象 小学3年生以上10名



育児相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関することなど、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽にお越しください。

■とき 7月8日(水) 13時30分～14時30分

(受付時間)

■場所 地域交流センター 和室

■申込 不要

■準備 母子健康手帳

■問い合わせ 子育て保健課

☎083-921-17085

つどいの広場「楽楽楽」講座

「藍染体験」

染め物に挑戦してみませんか? ハンカチに藍を使って模様染めをします。

■とき 7月3日(金) 10時～11時30分

■場所 吉敷つどいの広場「楽楽楽」

■講師 本城節子氏・大町佳奈氏

■対象 未就園児を持つ親子5組(先着順)

■参加費 一組500円

■準備 エプロン(汚れるかもしれません)、タオル、必要な方は、おむつ、飲み物

※ハンカチは「楽楽楽」で準備します。

■申込・問い合わせ つどいの広場「楽楽楽」

☎083-928-0035

変更・中止の場合は館内ポスター、ブ

ログにてお知らせします。



文化による地域づくりに 幅広く取り組んでいます

吉敷は、他地域から移り住んで来られた方が多く、こうした方々に地域に対する関心や愛着を深めていただくため、市の地域づくり交付金を活用し、文化による地域づくりに幅広く取り組んでいます。

肥中街道の整備

肥中街道は、大内氏が海外貿易のため整備した道場門前の安部橋から吉敷を経由して豊北町の肥中港に至る十六里の街道です。

吉敷管内のルートは、吉敷大橋や赤田神社、畑河内神社を経て、周防と長門の国の国境である吉敷畑の大峠に至る道となっています。

国境の周辺の道は、険しく、しかも椎木や竹が生い茂り通行が困難になっていましたが、吉敷畑や美東町の方々の協力により椎木や竹を伐採することができ、通行できるようになりました。倒壊していた国境の灯籠も、倒壊前の写真を参考に復元しています。



復元された灯籠

凌雲寺跡の活用

凌雲寺は、大内義興が創建したと伝えられているお寺です。

昭和34年に大内氏遺跡として国の史跡に指定されました。

国の史跡については、文化庁より保存に加え活用も推進するという方針が示されており、市文化財保護課とともに、史跡のPRや案内板の整備等に取り組んでいます。

昨年の春には、市文化財保護課において、中尾地区の春の景色を楽しみながら凌雲寺跡を視察する「中尾の文化財さんぽ」が開催され、多くの市民が訪れました。

また、日本庭園学会の視察先に凌雲寺跡が組み込まれ、全国から会員が訪れました。

凌雲寺跡は、美しい田園風景が広がる中尾地区の高台にあり、こうした風景を残していくためにも活用が必要であると考えています。



中尾の文化財さんぽの様子

郷土学習講座の開催

吉敷は、自然に恵まれ、また、大内氏や幕末・明治維新に関する史跡が各地に残されています。

吉敷を再発見、再認識していただくため、講座と散策を組み合わせた郷土学習講座を開催しています。



バスツアーの開催

吉敷とゆかりのある地域を巡るバスツアーを開催しています。

昨年は、憲章館出身の若者達が参戦した大田・絵堂の戦いの史跡と散策が可能になった国境の肥中街道を山口博物館の山田学芸専門監に同乗していた散策しました。



案内板の設置

史跡等の案内板の設置に取り組んでいます。

昨年度、国道435号の道路公園に、凌雲寺跡の案内板を設置しました。本年度は、肥中街道の標識を各地点に設置することとしています。



古文書講座の開催

吉敷の文化を掘り起こしていく取り組みとして、古文書の解説を学ぶ古文書講座を開催しています。

講師は、山口博物館の山田学芸専門監で、毎月1回第4月曜日に地域交流センターで開催しています。

現在、9名の方が多賀社文庫や大正時代の書状などを読む輪読会に参加しており、新規参加者を募集しています。
【申込・問い合わせ】吉敷地域文化振興協議会

☎083-9222-3344



暑い日が続いています 熱中症に気を付けましょう

夏前に、暑い日が続いています。これからの時期注意が必要な「熱中症」について、5月号のコロナウィルス対策に引き続き、医療法人社団 青藍会あんの循環器内科にお聞きします。今回は、原田看護師長に疑問に答えていただきます。

アドバイスを参考に、元気に夏を乗り切りましょう。

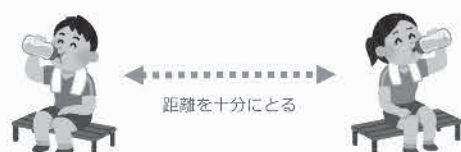
質問① 熱中症とはどのような病気ですか。

大量の発汗で体内の水分や塩分が失われ、体内で熱の放出が上手くできない結果発生する症状の総称です。気温・湿度が高い状態の中に居る、または激しい運動時に引き起こされます。

【症状】

- I度：眩暈（めまい）、多量の発汗、筋肉痛など
- II度：頭痛、吐き気、倦怠感（だるさ）など
- III度：高体温、痙攣、意識障害など

II度以降は医療機関での受診が必要な状態。III度は入院が必要な状態。重症化すると複数の臓器に異常が出て、中枢神経障害や肝臓・腎臓障害、起こすことがあります。



距離を十分にとる

- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

【令和2年度の熱中症予防行動】（環境省・厚生労働省）より抜粋

質問② 新型コロナウイルス終息の見通しが立たない中、マスク着用により熱中症患者が増加する？

一概にマスク着用で熱中症が増加するとは言えませんが、マスクを着用しているために水分補給が滞ってしまうなど、予防対策が行えなくて熱中症になってしまいう可能性は出てくるかと思えます。マスクの着用は人混みの中に出入りされる際にはしておく方が良いと思いますが、必要以上にする必要もないように思います。

質問③ 熱中症になったらどのような対処したら良いですか。

①軽症の場合は、現場で速やかな応急処置が重要で、まず身体を冷やし、熱を下げ、水分と塩分を補給します。

②直射日光を避け、クーラーや扇風機などのある涼しい場所への移動を行います。

③身体にこもった熱を早く下げるために動脈に近い場所（首や脇の下、足の付け根）に水をかけたり、氷を当てたりして冷やします。

④対応・対策を行っても改善しない場合は、医療機関を受診してください。



質問④ 熱中症の予防対策について教えてください。

①できるだけ高温・多湿の条件を避ける

②激しい運動は避ける

③水分補給はこまめに行う（喉の渇きに関係なく）

④通気性の良い衣服を使用する

⑤体調不良を感じたら涼しい場所で休憩する



ひとこと

毎年「暖冬」という二文字を耳にし、数十年前はこんなに気温は高くなかったよね、今年は雪が降らないかもね...と話題になっていました。一昔前に比べるとかなり気温は高くなっていることと実感します。夏の移行期から熱中症で運ばれる方が出てき始め、夏を迎えるとその数は年々増加し、熱中症で亡くなる方もおられます。そのため今では熱中症もメディアに取り上げられる時代です。自宅で健康に過ごせることが一番です。予防策を実践し、過ごしやすくする工夫で暑い夏場を乗り切ってください。



青藍会グループは、地域の皆様の健やかな生活を支えるお手伝いをしております。出張講座などご希望される場合は、ご連絡ください。

【問い合わせ先】

地域支援課 和田 TEL 083(933)6000

吉敷川に架かる橋【前編】

吉敷川は、赤田神社の境内を起点として、大蔵地域で本流の檜野川に合流します。春は桜、夏はホタルなど、四季折々の風景を楽しむことができ、地域の方々の憩いの場となっています。

この川に吉敷地域では、八つの橋が架けられています。上流から見ていきましょう。

吉敷川の起点標識
(写真右下)

【大坪橋（おおつばし）】

赤田神社の参道の入口の付近にあり、昭和62年12月に新設されたコンクリート橋。

以前は土橋であったが、昭和60年の水害で流失したため、大坪付近の宅地化を考慮して付け替えられたもの。



大坪橋

【車橋（くるまばし）】

蛭見橋の上流に架かる橋で、この付近の地名が車藪であること、また、ここに水車があったこと等、名称については諸説ある。昔あった橋を復活するという地元の要望で架け替えられ、中央には蛭見物に便利な広がりを作る等、平成7年10月にモダンな橋として竣工した。



車橋

【蛭見橋（はつみばし）】

赤田から大坪にわたる橋。昭和28年の大雨で土橋は流失し、昭和29年コンクリート橋になる。平成3年3月河川改修工事により、幅7mのコンクリート橋となった。土橋であったころは大坪橋といったが、いつの頃からか蛭見橋と呼ばれるようになった。



蛭見橋

【清涼橋（せいりょうばし）】

上河原から赤田にわたる橋で、昭和63年の河川改修で架設されたモダンな橋である。欄干に童謡「蛭来い」の楽譜と、音符に合わせて音が出るように金属板が取り付けられている。橋を渡る時、マレットで順々に叩いて渡ると、メロディが鳴る蛭の名所にふさわしい粋な橋である。このことから、別名メロディ橋とも呼ばれている。

清涼橋
(メロディ橋)

【良城橋（りょうじょうばし）】

以前の橋は前後が急カーブで見通しも悪く、国道435号の改修で交通量も急増したため、平成9年の河川改修工事に合わせた大改修が行われ平成9年3月に完成した。

橋の両端には良城小児童の「良城橋」等の文字や、蛭の絵が描かれている。西側には吉井勇の蛭塚も建立されている。



良城橋



地域の川を守りつなぐために 環境調査を始めました

吉敷自治会は、令和2年度、コミュニティ活動の一環として、環境保全促進助成事業補助金（100万円）を活用し、錦川、前田川、木崎川の水質検査を実施、その結果を検討します。

将来の自然豊かな吉敷の環境づくりを目的に、河川美化と美しい景観づくりに関する提案を行うためのソフト事業です。この取り組みにより、吉敷のホタルを育み、子ども達が、川遊びや河川学習などを通じて美しい自然を身近に感じることで、自然環境の保全に対する意識の高揚にも繋がる事を期待しています。

吉敷河川環境保全促進プロジェクト始動

本事業を円滑に進めるため、吉敷自治会及び前田川・錦川・木崎川の隣接地区の町内会・自治会と専門家による委員会を設置しました。委員は8名で専門家として田村環境コンサルタントオフィス代表に参画していただいています。

この中で、本事業の目的や進め方について意見を交わし、今後のスケジュールを確認しました。

去る5月21日には、3河川の水質調査を、5月29日には、現地踏査を実施し、吉敷河川環境保全促進プロジェクトの第1歩を踏み出しました。

水質調査と現地踏査

現状から見てくるもの

水質調査では、3河川の水質が基準に比べ良い状態なのか悪い状態なのかを把握し、それぞれの状態に応じて、水質浄化に向けた取り組みの検討を進めます。また、現地踏査では、河川の流れや泥などの堆積状況、ゴミなど不法投棄の状況などを確認することで、河川の現状を知るとともに課題などの洗い出しを行います。

今後、こうした取り組みを進めるとともに、講習会の実施や先進地の視察も予定しています。本事業における取り組みの成果については、令和2年度末に山口県環境政策課へ提出します。

「吉敷河川環境保全促進プロジェクト」委員名簿

役職	地区	氏名	備考
委員長	下 町	宮内 誠	美化・環境担当リーダー 下町町内会会長
専門家	大 町	田村 明	田村環境コンサルタント オフィス代表
委員	上 町	宮内 誠	講習会・研修会・広報紙 担当者
委員	木 崎	宮内 誠	水質・衛生担当リーダー 木崎町内会会長
委員	佐 田	宮内 誠	佐田自治会推薦委員
委員	中 村	宮内 誠	中村町内会推薦委員 吉敷自治会会長 中村町内会会長
委員	東面地区	宮内 誠	東面地区推薦委員
委員	大 町	宮内 誠	大町町推薦委員

地域のチカラ

「やまぐち路傍塾」

「やまぐち路傍塾」は、平成23年度に市が立ち上げた学校教育・生涯学習支援ボランティアの仕組みです。優れた知識や技能をお持ちの方や団体に登録していただき、学校教育や社会教育・生涯学習の場でその力を発揮していただくことを目的としています。吉敷地域では32名、11団体が登録し、知識・技能を生かして活躍されています。

吉敷地域での活動

良城小協育ネットコーディネーターである平田要典さんは、学校と地域の橋渡し役として連絡調整を行われています。良城小では、平田さんが中心となつて指導者を集め、昔の生活体験（七輪でのおもち焼き）や図画工作の支援（電動糸のこの使い方指導）などの活動が行われています。



良城小での電動糸のこの指導

ボランティアを通して 元気をもらう

平田さんは、良城小協育ネットコーディネーターの傍ら、路傍塾の登録者としても活動されています。定年退職後の再スタートとして始められたボランティアですが、地域の先輩方の経験や知識、協力が大きな力となり、様々な活動を続けてこられたそうです。「初めの頃は学校を支援するボランティアでしたが、今では逆に、子ども達から元気をもらいながらの楽しい活動です。年を重ねて来ると、つい自分が好きなことを中心とした生活に偏りがちになりますが、少しは社会（地域の子どもたち）の役に立つて楽しんで生きていければと思うこの頃です。」と平田さん。

「新型コロナウイルス関係で社会生活の見直しも必要になっていますが、地域の子どもを育てるには、子どもの親、学校の先生、地域の大人の協力が大切なことは変わりません。一緒に路傍塾で活動をしていく人達が増えればと思います。」と話されました。



交流センター講座でも活躍

レポート

そら豆いっぱいとれたよ

吉敷幼稚園では農業体験の一環として、地区環境づくり推進協議会の皆さんと一緒に、そら豆の苗を育ててきました。6月25日(月)には、収穫体験が行われました。

小さな手で約40分かけて、たわわに実った苗木からひとつ残らず収穫できました。自分で収穫したそら豆は、いつもよりおいしく感じられたことでしょうか。



伝統文化に触れる

6月17日(水)、「伝統文化吉敷いけばなこども教室」が開催されました。池坊山口支部の村田美代子さんを講師に、計10回生け花のお稽古や展示をする教室です。子どもたちは、試行錯誤しながら立派な作品を作り上げていました。



初めての田植え体験

6月2日(火)朝9時30分から、おおとり保育園の園児たちは、お隣の高津博さん所有の田んぼを拝借し、生まれて初めての田植えを行うことができました。

田んぼに入る前に、園長先生はコップに入れたお米を園児たちに見せ、これから植える苗が大きくなって、いつも食べるお米になることを、食べ物への感謝を含めて説明されました。

初めて入った田んぼの感触に声をあげながら無邪気に田植えをしている様子は、秋の刈入れを楽しみにしているようにも見えました。



ブックポスト交換

5月25日(月)、市立図書館の本の返却用に地域交流センターに設置されているポストの交換が行われました。利用数が増加していることから、これまでよりも少し大きなものに取り替えられました。今後たくさんご利用ください。



リレーエッセイ

Relay Essay

002

やすえ みゆき
安江 美行さん(赤田)



子どもの頃、地図を眺めながら山口県は遠い所という印象を持っていました。その山口県で生活することになるとは、人生とは不思議です。山口市に住んで今年で45年、吉敷赤田地区に住み32年目です。住んでいる周りの景色が随分変わりました。昔の田園風景が広がっている赤田地区の景色が大好きでした。現在、周りは住宅地です。

60代になって、吉敷地区のふれあい給食のグループに参加しました。おしゃべりしながらの季節のお弁当作りは楽しいものです。現在は、鼓の会というボランティアグループに参加し、一人暮らしの75歳以上の方に、誕生日に届けるプレゼントの手芸品を作っています。年を重ねると「誕生日なんかどうでもいい」と言われる方もいますが、私は誕生日を迎えるたびに生きている幸せを感じています。現在は70代となり、髪をグレーヘアにしました。周りには賛同者も増えつつあり、気持ちが楽になるスタイルです。

赤田地区の「いきいきサロン」を9名の委員で実行しています。年齢を重ねると、行動範囲が狭くなります。地域での活動に参加することをお勧めします。話し相手ができ、楽しいことがたくさん増えてきます。

私の生活目標は「日々是好日」。いつも心は楽しく笑っていたいと思っています。



いきいきサロンでの活動の様子



1 水		
2 木	●町内会長会 18:30～	
3 金	●楽楽楽「藍染体験」 10:00～11:30 P.2	
4 土		
5 日		
6 月	●あいさつの日	
7 火		
8 水	●育児相談 13:00～15:00 P.2	
9 木		
10 金		
11 土		
12 日		
13 月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～	
14 火		
15 水		
16 木		
17 金	●青少年夜間巡回 21:00～	
18 土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00 ●青少年夜間巡回 21:00～	

19 日		
20 月		
21 火		
22 水		
23 木	●海の日	
24 金	●スポーツの日 ●青少年夜間巡回 21:00～	
25 土	●青少年夜間巡回 21:00～	
26 日		
27 月	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00 ●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～	
28 火		
29 水		
30 木		
31 金	●青少年夜間巡回 21:00～	

8月のおもなイベント

10 月	吉敷ベタンク同好会練習
18 火	あいさつの日
24 月	吉敷ベタンク同好会練習

「つながりを保つ」
「行ってきたまーす」の元気な声と共に、ランドセルを背負った子ども達が学校に向けて駆けていく。そんな当たり前の光景が失われる日が来るなんて、思いもしませんでした。これを綴っている今、そういう日常が少しずつ戻りつつあり、ほっとしています。春からのこの数か月、日常の複雑さを痛感しました。そして、人と人とのつながりが脅かされることが、こんなにも私達を不安に陥れるということも実感しました。マスクも苦手ですが、もつと愚言しかつたのは、「何か」や「誰か」を責める心ない言葉が耳に届いたことです。こういう時だからこそ、思いやる気持ち、共感する心を失ってはいけないうに……。コミュニケーションに必要なのはつながり。人とのつながりには身体的な近さや温もりが欠かせませんが、それがままならなくなつた今、新しいコミュニケーションの方法が模索され、オンラインによるつながりが一気に広がりました。オンラインなら、遠く離れた人とも一瞬でつながることができそうです。ただいたずらに置かれている状況を嘆くのではなく、知恵と工夫で乗り切る。変わっていくことと変えてはならないことを見極めながら、人に分断を迫る意地悪なコロナウィルスに負けずにいかに暮らししていきたいと思えます。

広報委員 清徳睦美

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会 (〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

